

事務事業マネージメントシート

作成日 平成27年05月14日

事務事業名	叙勲受章祝賀会実施事業				担当	総務部 秘書課 秘書政策係					
政策名	H	施策体系外					電話番号	0285-83-8098			
施策名	1	施策体系外の事業					<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業				
基本事業名							事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠								<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 39 年度~)			
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	1.一般管理費				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)			
事業概要	市民が生存者叙勲を受けた場合に、市長と功績に関係する団体の長が発起人となり、国・県・市の議員、名譽市民、市政功労者、過去の叙勲受章者、特別職等要職者に呼びかけ、叙勲受章祝賀会を開催する。原則として会費制であるが、記念品代、パンフレット作成費等については、公費より支出する。										

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 26年度実績 ・受章者に趣旨を説明し意向を確認して、日時、場所を決定。 ・招待者への通知等の準備を行う。 ・当日は受章者の送迎、受付、会の進行を行う。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移							
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
27年度計画 平成26年度と同じ	ア 祝賀会実施回数	回	1	2	1	1	2	
	イ							
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 叙勲受章者、招待者	ウ							
	エ							
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 叙勲者の受章を祝い、功績をたたえる。	オ							
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移							
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 市民意識の高揚に結びつける。	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
	ア 叙勲受章者数	人	6	9	10	5	5	
⑤上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	イ 招待者数	人	182	416	205	139	150	
	ウ							
(2) 総事業費の推移	エ							
	オ							
⑥事業費の内訳	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア 功績をたたえた割合	%	100	100	100	100	100	
⑧トータルコスト(A)+(B)	イ							
	ウ							
⑨人件費	エ							
	オ							
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等		⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		ア 祝賀会に出席した招待者数(割合)						
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		ア 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		イ 県支出金	千円	0	0	0	0	0
		ウ 地方債	千円	0	0	0	0	0
		エ その他	千円	0	0	0	0	0
		オ 一般財源	千円	154	434	360	188	0
		⑨事業費計(A)	千円	154	434	360	188	0
		⑩人件費計(B)	千円	85	84	81	84	0
		⑪トータルコスト(A)+(B)	千円	239	518	441	272	0

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 叙勲受章者の功績をたたえることは、市民意識を高揚し、豊かで活力ある街づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市長が市民を代表して、受章者の功績をたたえるところに意義がある。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 開催については受章者本人の意思を尊重。 招待者については、市民各層の代表者を対象としている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 功績をたたえるので向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 功績をたたえる機会を逸してしまう。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は、記念品代、パンフレット印刷費など最低限である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 祝賀会開催に必要な最低限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 会費制を採用している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="ghost"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								